

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	農林水産省 総合食料局 食品産業企画課	連絡先	03-3502-5742
所管する業務の概要	・食品産業等に関する政策の企画立案、金融、税制 ・食品産業等に関する技術の改良及び発展 ・食品産業等に関する環境の保全、資源の有効利用の確保		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
・農林水産省を代表しているとの認識をもち、「接遇マニュアル」や接遇研修で学んだをことを実践し、相手の考えを良く聞き、納得していただく回答ができるよう丁寧に対応するとともに、来訪者に対して積極的に声がけするよう努めている。		・時間の経過とともに「ビジョンステートメント」や「接遇マニュアル」等で学んだ意識が薄れてしまう可能性があるため、これらを再認識するための課内会議の場を設け、日々の業務で継続的に実践するよう周知する。	
・担当業務でない問い合わせがあった場合には、内容を良く確認した上で、適切な担当者を紹介しており、先方から御礼の言葉をいただくこともある。さらに、担当者に簡単な相談内容や電話がある旨を予め伝えることで、話が通りやすくなるようにしている。			
・正確な情報をいち早く提供するため、日頃から情報の所在を確認するとともに、相手方の問い合わせの内容をよく聞き、回答に際しては可能な限り資料を提供し、問い合わせ先を明記している。			
・現在、所掌している施策については、当省ホームページにて、図などを活用しながら紹介しており、更に施策についてよくある質問とその回答を併せて掲載している。		・情報提供の媒体が限定されているため、ターゲットを明確にした、より効果的手法として、地方組織や関係機関等を通じた情報提供を徹底する。	

	最新の情報を発信するため、農林水産省ホームページに掲載する情報を随時更新するとともに、わかりやすい内容となるよう工夫する。
--	---

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
- 事業者や地方組織等に対して、日常での接触の機会を始め、ヒアリング、会議の場を設定し、積極的に政策ニーズ等の把握、意見交換を行っている。 - 日頃、新聞記事・業界誌からの情報収集を行い、業界の動向やニーズの把握を行っている。	- 現場で直接事業者等のニーズを吸い上げる機会が少ないため、現場へ出張する際などに地方組織と事業者とを一堂に介した意見交換会の開催や、アンケート調査を行うなどし、ニーズの把握や内容の分析に努める。 - 日常的に施策に関する意見交換に努めているものの、より活発かつ建設的な意見交換が必要となるため、本省と地方組織との間で建設的な意見交換を行うことのできる場として地方組織の意見を聞きながら、「食品産業業務の情報共有掲示板（仮称）」、「業務改善のための提案」を設ける（年内設置予定）。
- 農商工連携の取組については、省内には連携推進チームがあり、また、経産省、中企庁の外部的にも定期的に担当レベルで情報交換会の機会を設けている。 - HACCP^{（注）}に関しては、水産庁（加工流通課）、消費・安全局（動物衛生課）など、関連する部局の担当者と情報交換を行っている。 注：HACCP とは、食品のすべての製造工程で、あらかじめ危害要因を予測し、危害防止につながるポイントで継続的に監視・是正することにより、問題のある製品の出荷を未然に防止する管理手法	
利用者の視点で、政策の目的、内容、その効果等がわかりやすいようパンフレット等の資料を作成し、ダイレクトメールや農水省ホームページを活用した情報の発信、説明会の開催、往訪による説明等を積極的に行い、政策を理解	- 幅広く国民に政策を理解してもらうことが必要であるため、引き続き、食品産業に関連する政策等をパッケージ化した質の高い情報の提供を行う。 - 政策の見直し、変更に当たっては、結論を説明するの

していただくよう努めている。 定期的開催される食品関連団体・企業等を対象とした会議において、食品産業に関する政策全般（消費・安全局、経営局、公正取引委員会等が所管する政策等）の情報を随時提供している。	ではなく、企画の段階から可能な限り関係者と意見交換を行う。
---	--------------------------------------

3. リスク管理	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
・ リスク回避のため、上司を始め周囲に対する報告・連絡・相談を行い、関係者との情報共有等に努め、見逃した問題などを指摘してもらう機会を作っている。 ・ 確認不足による事例が多いため、メールやファックスの送信一つでも、宛先、内容の確認を慎重に行い、さらに関係機関等との協議についてはメール送信後にできるだけ電話を入れることにより、受信確認を行うようにしている。 ・ ヒヤリ・ハット事例を見る際に、自分に当てはめて考えるようにし、日々の業務を見直すようにしている。 ・ 「BSE 問題で得られた教訓」及び「事故米の不正規流通問題に関する反省点と改善策」レポートについての勉強会を開催し事務への反映状況や改善策などについての意見交換を行った。	・ これまで当課の業務で問題が発生したことはないが、業務におけるリスク管理をルール化していないため、手順・ルールのポイントを明確にし、職員間で共有することとする。 ・ 「BSE 問題で得られた教訓」及び「事故米の不正規流通問題に関する反省点と改善策」レポートに記載された教訓等が、時間が経つにつれて記憶から遠のきがちなため、レポートを定期的に取り返し、教訓を忘れないよう努める。

4. 食の安全に関する取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
HACCP 法及び補助事業を通じた食品事業者に対する		導入の遅れている中小零細企業に対し、品質・衛生管理	

HACCP 手法の導入を推進し、より使いやすい制度（導入要件の緩和）、施策とするよう工夫している。	の取組を促進するため、低コストで HACCP 手法を導入するためのモデル作りとその普及など今後重点的に講じるべき施策を明らかにしていく。
---	--

5. その他の重要な取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
- 業務の平準化が図られるよう日程を組み、スケジュール管理を行うとともに、一定の者に業務が集中した際には、周囲の者が可能な限り協力するよう努めている。 - 業務上の問題があった場合に限らず、常日頃から報告・連絡・相談が行われるようにしている。		業務が一定の者に集中しがちとなるため、日頃よりお互いの業務を理解し、幅広く勉強に努め、業務が集中した者の業務を協力できるようにする。	
明るく風通しのよい環境を上司自らが積極的に作っているため、自由な意見交換ができ、モチベーションの向上も図ることができる。		引き続き、コミュニケーションが取れ、風通しの良い職場となるよう環境作りを行う。	